

平成19年7月27日(金)開催

## 総務委員会会議順序

開議時刻 午前10時30分  
会議室 総務委員会室

### ○ 開 会

#### 1 付託事件

#### 2 協議又は報告事項

- (1) 平成18年度決算見込みについて
- (2) 平成18年度岡山県税収確保対策実施計画の取組実績について
- (3) 岡山県防災対策条例(仮称)制定に係る県民からの意見募集等について
- (4) 岡山空港開港20周年記念事業の実施について
- (5) 平成19年度コミュニティIT・タウン推進モデル事業の選定について
- (6) その他

### ○ 次回の委員会

・平成19年8月10日(金) 午前10時30分～

### ○ 閉 会

# 総務委員会資料

- 平成18年度決算見込みについて ..... P 1
- 平成18年度岡山県税収確保対策実施計画の取組実績に  
ついて ..... P 4
- 岡山県防災対策条例（仮称）制定に係る県民からの意見募集  
等について ..... P 6

平成19年7月27日

総務部

# 平成18年度決算見込額

(単位：百万円)

区 分		普 通 会 計		(参考) 一般会計	
		平成18年度	平成17年度	平成18年度	平成17年度
歳 入	最終予算額	738,208	773,366	697,480	727,296
	前年度からの繰越額	23,637	28,539	18,984	23,135
	予算額計 (A)	761,845	801,905	716,464	750,431
	決算見込額 (B)	742,443	780,668	697,557	730,136
	差引(A)-(B) (C)	19,402	21,237	18,907	20,295
歳 出	最終予算額	738,208	773,366	697,480	727,296
	前年度からの繰越額	23,637	28,539	18,984	23,135
	予算額計 (D)	761,845	801,905	716,464	750,431
	決算見込額 (E)	735,545	772,257	695,106	727,086
	差引(D)-(E) (F)	26,300	29,648	21,358	23,345
歳入歳出差引額 (B)-(E) (G)		6,898	8,411	2,451	3,050
翌年度繰越財源 (H)		5,769	8,327	2,073	2,566
実質収支 (G)-(H) (I)		1,129	84	378	484
前年度実質収支 (J)		84	98	484	522
単年度収支 (I)-(J) (K)		1,045	△ 14	△ 106	△ 38

※普通会計は、一般会計に公営事業会計以外の特別会計を合算した会計区分。なお、平成18年度決算から、普通会計における翌年度繰越財源から、繰越事業に係る地方道路整備臨時交付金分が除かれることとなった。

## 平成18年度 決算見込額（普通会計）

（歳入）

（単位：百万円，％）

区 分	決 算 額		伸び率	構 成 比	
	18年度	17年度		18年度	17年度
地 方 税	227,828	225,030	1.2	30.7	28.8
うち法人二税	85,480	84,905	0.7	11.5	10.9
地方譲与税	36,512	14,660	149.1	4.9	1.9
地方交付税	150,045	180,693	△ 17.0	20.2	23.1
国庫支出金	88,023	102,873	△ 14.4	11.9	13.2
使用料・手数料	12,186	12,668	△ 3.8	1.7	1.7
地 方 債	94,341	93,072	1.4	12.7	11.9
そ の 他	133,508	151,672	△ 12.0	17.9	19.4
うち繰入金	12,522	6,731	86.0	1.6	0.9
歳入合計	742,443	780,668	△ 4.9	100.0	100.0

（歳出）

（単位：百万円，％）

区 分	決 算 額		伸び率	構 成 比	
	18年度	17年度		18年度	17年度
義務的経費	356,483	363,288	△ 1.9	48.5	47.1
人件費	236,907	235,223	0.7	32.2	30.5
扶助費	12,294	14,013	△ 12.3	1.7	1.8
公債費	107,282	114,052	△ 5.9	14.6	14.8
投資的経費	125,909	143,157	△ 12.0	17.2	18.5
普通建設事業費	121,130	133,794	△ 9.5	16.5	17.3
補助	53,127	56,205	△ 5.5	7.2	7.3
単独	51,813	56,124	△ 7.7	7.1	7.2
国直轄負担金	16,190	21,465	△ 24.6	2.2	2.8
災害復旧事業費	4,779	9,363	△ 49.0	0.7	1.2
そ の 他	253,153	265,812	△ 4.8	34.3	34.4
歳出合計	735,545	772,257	△ 4.8	100.0	100.0

# 平成18年度決算の主な指標 [普通会計]

(単位：百万円，%)

## 1 収支の状況

項 目	18年度	17年度
実 質 収 支	1,129	84
単 年 度 収 支	1,045	△ 14
実 質 単 年 度 収 支	1,045	△ 14

※ 平成18年度決算では、特定目的基金からの繰替運用 3,500百万円及び企業局からの借入 2,000百万円を臨時的歳入対策として実施した。

## 2 歳入の状況

項 目	18年度	17年度	増減額	増減率
歳 入 総 額	742,443	780,668	△ 38,225	△ 4.9

### (1) 一般財源と特定財源

項 目	18年度	構成比	17年度	構成比
一 般 財 源	416,206	56.1	433,403	55.5
特 定 財 源	326,237	43.9	347,265	44.5
計	742,443	100.0	780,668	100.0

一 般 財 源： 県税， 地方譲与税， 地方特例交付金， 地方交付税， 交通安全対策特別交付金

### (2) 自主財源と依存財源

項 目	18年度	構成比	17年度	構成比
自 主 財 源	371,701	50.1	376,350	48.2
依 存 財 源	370,742	49.9	404,318	51.8
計	742,443	100.0	780,668	100.0

自 主 財 源： 県税， 分担金・負担金， 使用料・手数料， 財産収入， 寄附金， 繰入金， 諸収入， 繰越金

## 3 歳出の状況

項 目	18年度	17年度	増減額	増減率
歳 出 総 額	735,545	772,257	△ 36,712	△ 4.8

### (1) 義務的経費・投資的経費・その他の経費の割合

項 目	18年度	17年度	増 減
義 務 的 経 費	48.5	47.1	1.4
投 資 的 経 費	17.2	18.5	△ 1.3
そ の 他 の 経 費	34.3	34.4	△ 0.1

義務的経費： 人件費， 扶助費， 公債費

投資的経費： 普通建設事業費， 災害復旧事業費， 失業対策事業費

その他の経費： 補助費等， 貸付金， 物件費， 維持補修費など

## 4 財政指標

項 目	18年度	17年度	16年度
経 常 収 支 比 率	97.8	90.9	97.5
公 債 費 比 率	17.4	19.9	23.1
起 債 制 限 比 率	16.0	17.4	18.2
項 目	19年度	18年度	
実 質 公 債 費 比 率	17.8	18.8	

※実質公債費比率：標準財政規模に対する実質的な公債費負担（他会計における起債の償還に要する繰入金等，公債費に準ずるものを含む）の比率。この率が18%以上の団体は，地方債の発行に当たり，国の許可を要する。

## 平成18年度 岡山県税収確保対策実施計画の取組実績について

昨年10月に策定した収入率の向上と滞納額の縮減を目標とする「岡山県税収確保対策実施計画」の重点取組事項のうち18年度から着手した「滞納処分の強化」の実績については、次のとおりです。

### 記

#### 1 収入率及び滞納額

(単位：％、百万円)

区 分	収 入 率		滞 納 額		
	H18	H17	H18	H17	差引額
全 税 目	97.0	96.8	6,047	6,442	△395
個人県民税以外	97.8	97.6	3,734	4,135	△401

(注) 県税のうち個人県民税以外の税目を県が徴収している。

#### 2 差押等の状況

預貯金など債権に加え自動車や動産の差押を強化するとともに、インターネット公売の活用などにより、前年度の2.6倍の68百万円の取立・公売を実施。

##### (1) 差押件数

(単位：件)

年度	債 権	電 話	不動産	自動車	動 産	その他	合 計
H17	478	245	52		3	10	788
H18	729	145	13	21	7	14	929

##### (2) 取立・公売の状況

(単位：件、千円)

年度	債 権	電 話	不動産	自動車	動 産	その他	合 計
H17	( 356) 24,992	( 89) 1,501				( 11) 212	( 456) 26,705
H18	( 614) 58,985	( 92) 1,426	( 1) 2,640	( 2) 2,275	( 39) 3,141	( 4) 70	( 752) 68,537

(注) 上段( )は、件数。

##### (3) インターネット公売の状況

(単位：件、千円)

実施回数	公売物件	件 数	見 積 額	売 却 額	倍 率	備 考
4回	不 動 産	1	1,045	2,640	2.5	
	自 動 車	1	740	1,834	2.5	
	動 産	39	775	3,141	4.1	
	合 計	41	2,560	7,615	3.0	

(注) 数量、売却額は、(2)取立・公売の状況の内数。

#### 3 19年度の取組

本格実施となる本年度は、引き続き財産調査の徹底により財産がありながら納付のない者に対して厳正な滞納処分を実施するとともに、滞納事案数の多い備前・備中の2局において、累積滞納や高額滞納事案と少額事案を分担する体制を導入し、一層の滞納整理を促進する。

また、個人県民税対策として、市町村への併任派遣を始めとする連携活動の充実など市町村と協働して徴収対策を実施する。

(注) 「実施計画」では、平成19年度から着手し、平成21年度を目標年次とするが、重点取組事項のうち、滞納処分の強化については、18年度から着手することとした。

[参考]

## 岡山県税収確保対策実施計画の概要

### 第1 実施計画の目標

個人県民税以外の県が賦課徴収している税目について、平成21年度には、滞納額を平成17年度の2/3以下に縮減するとともに、全国上位となる収入率98.5%以上を目指す。

計画は、平成19年度から着手し、平成21年度を目標年次とするが、実施可能な滞納処分の強化については、平成18年度から着手する。

※ 17年度滞納額＝全税目：64億円、個人県民税以外の税目：41億円

### 第2 取組内容

#### 1 滞納整理の取組強化

##### (1) 財産差押えの強化

- ・ 動産や自動車の差押えを強化。
- ・ 調査先を拡大し、不動産や債権など幅広い差押えを実施。
- ・ 納税に対して誠意のない悪質滞納者等に対しては、搜索を実施。

##### (2) 差押え財産の公売促進

インターネット公売等を活用し、差押財産を積極的に公売。

##### (3) 財産調査の徹底

財産調査を徹底し、「差押処分」や「執行停止」による滞納事案の早期完結。

#### 2 組織的な対応と人材育成

##### (1) 効果的な徴収事務体制の導入

- ・ 自己完結的体制から、班内完結型の体制に移行。
- ・ 「困難事案」と「少額容易事案」の滞納整理を班内で分担。

##### (2) 進行管理の徹底

目標管理方式であるPDCAサイクルを活用し、効率的な滞納整理を実施。

##### (3) 滞納整理能力の強化

外部研修への参加や職場内研修及び事例検討会等の充実。

#### 3 個人県民税徴収対策の充実

市町村への県税務職員の併任派遣をはじめとした、連携活動の充実を図り、協働して徴収対策を実施。

#### 4 納付方法の多様化と滞納整理事務の省力化

##### (1) コンビニでの自動車税納付

自動車税のコンビニ収納の平成20年度導入を目指す。

##### (2) 電子収納

ワンストップサービスや地方税の電子申告システム(エルタックス)による、自動車税及び法人二税等の電子収納システムの構築を進める。

##### (3) 滞納整理事務の電算化

滞納整理事務の効率化を図るため、電算管理システムの内容について、平成19年度から検討を開始。

### 第3 徴収状況に関連するデータの公表

徴収の実態が正確に県民に理解されるよう、徴収状況に関連するデータ(課税年度ごとの最終的な収入率など)の公表を行う。

## 岡山県防災対策条例（仮称）制定に係る県民からの意見募集等について

岡山県防災対策条例（仮称）の制定に当たり、県民からの防災・災害に対する意見・提言を条例に反映させるための一環として、県民からの意見募集を、次のとおり実施する。

なお、台風第4号の影響を考慮し中止した津山会場（平成19年7月15日開催予定）での県民との意見交換会については、次のとおり開催する。

### 記

#### 1 岡山県防災対策条例（仮称）制定に係る県民からの意見募集

- (1) 募集期間 平成19年8月6日（月）から平成19年8月31日（金）
- (2) 募集方法 郵送、ファックス、電子メールのいずれかの方法
- (3) 提出先・問い合わせ先

岡山県総務部危機管理課

〒700- 8570 岡山市内山下2-4-6

電話番号 086-226-7293

FAX番号 086-225-4659

電子メール kikikanri@pref.okayama.lg.jp

[http://kikikanri.pref.okayama.jp/gcon/bo33gnjyorei\\_top.htm](http://kikikanri.pref.okayama.jp/gcon/bo33gnjyorei_top.htm)

#### 2 県民との意見交換会の開催

- (1) 日 時 平成19年8月19日（日）14:00～16:00
- (2) 場 所 グリーンヒルズ津山 リージョンセンター ペンタホール  
津山市大田920
- (3) 募集人数 380人まで
- (4) 募集期間 8月17日（金）まで
- (5) 参 考 岡山会場（7月1日実施）参加者104名  
倉敷会場（7月8日実施）参加者186名



# 総務委員会資料

	頁
○ 岡山空港開港20周年記念事業の実施について .....	1
○ 平成19年度コミュニティIT・タウン 推進モデル事業の選定について .....	3

平成19年7月27日

企画振興部

## 岡山空港開港20周年記念事業の実施について

岡山空港開港20周年記念事業実行委員会（航空会社、旅行社、国、県等関係17機関で構成）において、この度、記念事業の概要及び事業実施に当たり使用する「ロゴマーク」が決定されるとともに、オープニングイベントとして、東京線の早朝便利用者に白桃をプレゼントすることとした。

### 記

#### 1 開港20周年記念事業の概要

【期 間】 平成19年8月～平成20年3月

##### 【主な事業】

##### ①開港20周年記念祭

- ・平成20年3月8日(土)～9日(日)
- ・就航先観光大使の紹介・写真撮影会、就航先の観光・芸能の紹介  
就航先の物産の販売・屋台村の設置 など

##### ②その他の主な事業

- ・ロゴマークの作成・使用
- ・フォトコンテストの実施（優秀作品で平成20年カレンダー作成予定）
- ・「旅のエッセイ」の募集
- ・空港内の飲食店が特別メニューを提供、物販店が記念グッズを販売
- ・マンスリープレイベントの実施  
8月：白桃のプレゼント                      9月：空の日記念事業  
10月：空港業務の紹介                      11月：国際線の重点PR  
12月：クリスマスコンサート      1月：お正月行事(餅つき、獅子舞) など

#### 2 ロゴマークの決定（別紙マーク）

- ・「県民を始めとした岡山空港利用者に感謝の気持ちを表すとともに、今後とも地域に根ざした空港として発展し続ける。」というイメージを表現したものである。
- ・ロゴマークでワッペンを作成して、8月1日から岡山空港関係者が着用するとともに、シール・ポスター・看板等で、幅広く活用する予定である。

#### 3 白桃のプレゼント（オープニングイベント）

##### 【趣旨・概要】

利用者への感謝と岡山県・岡山空港のPRのため、東京線の岡山発の早朝便の利用者・乗務員全員に、特産の白桃を3日間にわたってプレゼントする。  
(7時15分発のJAL1680便と7時30分発のANA652便が対象)

##### 【日 時】

8月1日(水)～8月3日(金)の午前6時35分頃～午前7時30分頃まで

##### 【場 所】

岡山空港ターミナルビル2階 国内線搭乗口

##### 【プレゼントの方法】

地元町内会と岡山市農業協同組合の協力を得て、大和白桃または清水白桃を、おかやま観光フレンズなどがプレゼントする。

##### 【記念式典（8月1日のみ）】

8月1日(水) 午前6時45分～（国内線搭乗待合室内）

おかげさまで20年



ありがとう

岡山空港

OKAYAMA AIRPORT

## 平成19年度コミュニティIT・タウン推進モデル事業の選定について

「新おかやまIT戦略プログラム」(平成19年1月策定)に掲げているコミュニティIT・タウン構想の具体化を図るため、本年度のコミュニティIT・タウン推進モデル事業について、次の2事業を選定した。

事業主体	事業名及び事業内容
新見市	<p>「防災管理システム構築事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①新見市防災デジタルマップ(GIS)の構築</li> <li>②カメラやセンサーを活用した水位等の自動計測及び自動配信</li> <li>③地震波検知による職員一斉招集及び告知放送端末への放送</li> <li>④ケーブルテレビのコミュニティチャンネルとGISの連動</li> <li>⑤地域ボランティアへの一斉情報提供</li> <li>⑥地域ボランティアから寄せられる情報の収集</li> </ul>
矢掛町	<p>「安心あったかコミュニケーションシステム」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①テレビ電話(タッチパネル付)を活用した独居老人の安否確認及び日々のコミュニケーションの確保</li> <li>②センサーを活用した独居老人の安否確認</li> <li>③ペンダント型非常通報機器を活用した緊急通報システムの構築</li> <li>④近所サポーター、家族、行政(一部事業者委託)等の連携協力による地域見守りネットワークを構築</li> </ul>

### <参考>コミュニティIT・タウン構想

～地域による、地域のためのITを、地域から～

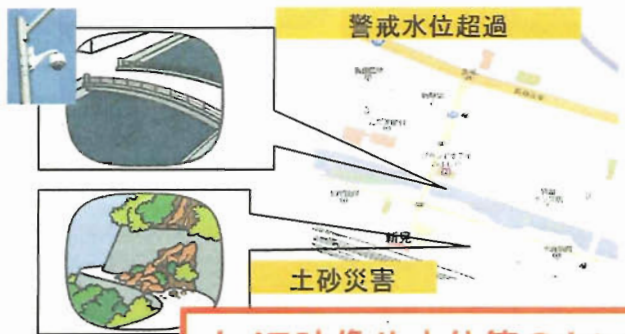
「誰もがITを身近に実感できるようにするため、個人としての利活用だけでなく、地域に根ざした情報化を進める観点から、地域で抱える課題をコミュニティの中で解決するために利活用が進められることが求められています。地域のニーズに合ったITの利活用を通じて、その便利さだけでなく、地域の振興等に向けた有用性等を実証し、地域に役立つITの浸透を図ることにより、地域に根ざした情報化を全県的に進めます。」(新おかやまIT戦略プログラムより抜粋)

# 新見市防災管理システム構築事業

～地域と協働してつくる安全・安心なまちづくり～

■ 河川水位、土砂崩れ、地震に対する監視等に重点を置いた情報基盤の構築

## ▼新見市防災デジタルマップ (GIS)の構築



カメラ映像や水位等のセンサー情報を自動計測・自動配信

## ▼地震波検知システムの整備



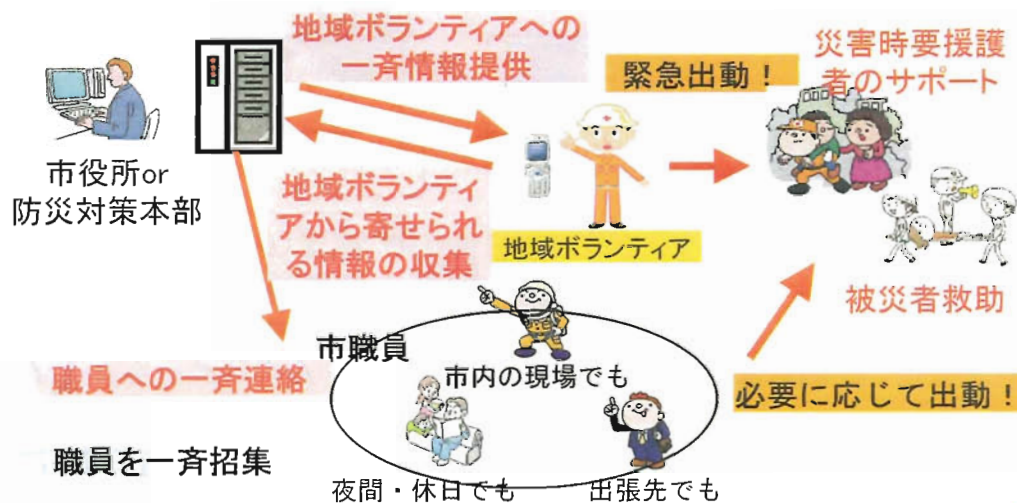
■ きめ細かな情報提供

インターネット、携帯電話、そしてケーブルテレビへ情報を同時配信



ケーブルテレビのコミュニティチャンネルとGISの連動

■ 迅速で効率的な情報伝達

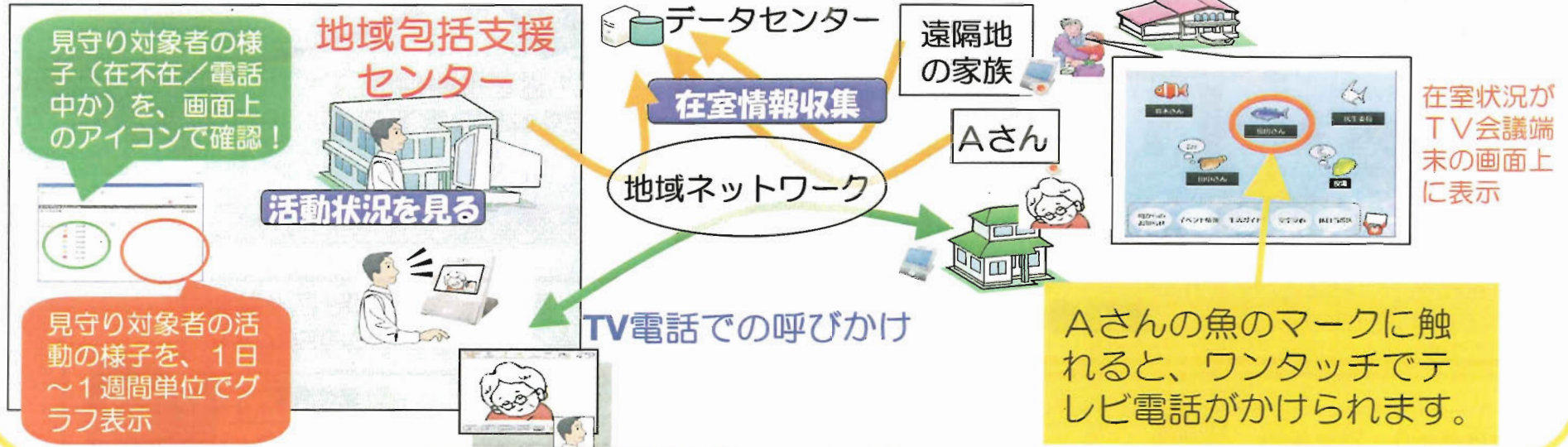




# 矢掛町安心あったかコミュニケーションシステム

## 【平常時のコミュニケーション】

データセンターに見守り対象者の在室状況を蓄積



## 【緊急通報】

